

うらおそい歴史新聞



第27号

戦後70周年企画 第2弾 市民歴史講演会『戦争体験者が語る戦後70年』を開催します！

うらおそい歴史ガイド友の会では戦後70周年企画の第2弾として、中山きく氏を講師にお迎えし『戦争体験者が語る戦後70年』という演題で講演会を開催します。今回の講師の中山きく氏は「沖縄の地上戦を後世に語り継がなければならぬ」と戦争体験者の切実な声を内外へ発信しておられます。入場は無料ですので、どうぞご参加ください。

- 日時 平成28年1月16日(土) 午後1時から3時
- 時間 午後1時から3時
- 受付・開場 12時15分
- 場所 浦添市立中央公民館3階大ホール
- 講師 中山きく(沖縄県立第二高等女学校白梅同窓会会長)
- 対象 市民約100名(要申込)
- 申込 浦添グスク・ようどれ館まで(098) 874-1934
- 料金 入場無料
- 主催 NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会

戦後70周年企画 嘉数高地の戦跡と史跡巡りを実施しました！

12月13日、好天のもと、戦後70年特別企画「チヂフチャーガマ」嘉数高地の戦跡めぐり」実施しました。参加者は67名、スタッフ16名で、募集人員を上回る盛況で、遠くは名護市からの参加がありました。

嘉数高地は、沖縄戦の勝敗を決したと言われるほどの激戦地で、参加者の皆さんも各戦跡でのガイドの説明に真剣に聞き入っていました。近隣地区の参加者からは「激戦地とは聞いていたが、こんな身近に戦跡があるとは知らなかった。勉強になりました」等の感想があり、認識を新たにしたいようです。(親富祖)



【チヂフチャーガマを見る見学者】
チヂフチャーガマは、牧港の安川南公園に位置する遺跡(市指定史跡：チヂフチャー洞穴遺跡)で、沖縄戦の際には避難壕として利用されていました。見学の際には、ハブ等に気をつけて見学して下さい。

大平橋の遺構が発見 ～発掘現場見学会に参加して～

幾多の災難を経て、首里平良の太平橋が姿を現しました。尚寧王代、浦添から平良までの道程を石畳道や石橋に改修した竣工記念碑が浦添グスクにあります。

太平橋は、これまで文献でしか知りえなかった橋でしたが、いざ現場に行き、発掘現場を目の前にしたとき、当時にタイムスリップしたような感になったのは私だけではなからうと思います。

当時の石積み完成度もよく、長い年月の風雨や、戦争にも耐え、現道路よりも3メートル下にこの様な遺跡が残っていたとは想像もありませんでした。

また、屋敷跡、井戸も当時のまま残っていたのは驚きです。願わくば歴史遺産として残したいものです。(玉那覇)

【発見された遺構】

平成27年11月14日に市民向けの発掘現場見学会(那覇市文化財課主催)が実施され、遺構が公開されました。これらも「中頭方西海道」の一連の遺構の可能性がります。



浦添グスク・ようどれ館

【開館時間】
午前9時～午後5時

【入館料】
大人(高校生以上) 1000円
小人(小中学生) 500円

※市内小・中学生は無料

【休館日】月曜日(祝日は開館)・年末年始

【住所】〒901-2103 沖縄県浦添市仲間2-53-1

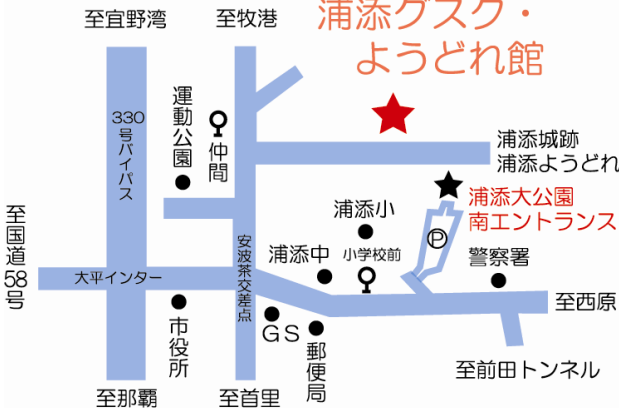
【電話】098-874-9345

【アクセス】
琉球バス交通 牧港線(55番) 仲間バス停から徒歩5分

※浦添グスク・ようどれ館を中心に浦添の史跡・文化財の案内を致します(有料)。時間・コースも相談できます。お気軽にお問い合わせ下さい。

※浦添大公園の南エントランスにグスクや市内文化財を紹介する展示コーナーもありますので、あわせてご覧ください(ガイドの解説あり)。

浦添グスク・ようどれ館



※仲間バス停から徒歩5分